タブネオス（一般名：アバコパン）の中止とその後の治療について

タブネオスを服用中の患者さんとご家族へ

この文書は、顕微鏡的多発血管炎（MPA）または多発血管炎性肉芽腫症（GPA）で、アバコパン（商品名 タブネオス）を主治医と相談して計画的に中止する方への説明です。

中止する時期と、その後の治療・検査の予定を主治医と確認しましょう。自己判断で薬をやめたり、量を変えたりしないでください。

1. なぜ中止を検討するのですか

タブネオスの承認の根拠になった臨床試験で、データの信頼性に問題があることがわかり、論文が取り下げられました。また、重い肝障害も報告されています。こうした状況を踏まえ、2026 年 10 月に厚生労働省から、新たな患者さんへの使用を控え、現在服用中の方についても、原則として中止またはほかの治療への切り替えを検討するよう通知が出されました。

タブネオスを計画的に中止後にどの治療を行うのが最もよいかを直接調べた研究は、まだありません。一方、血管炎にはこれまで用いられてきた治療があります。病気の状態やこれまでの治療、副作用の起こりやすさ、ご本人の希望を踏まえて、主治医と相談して今後の治療を決定します。

2. 中止する前に何を確認しますか

症状や診察、血液・尿の検査、必要に応じた画像検査で、血管炎の状態を確認します。過去に病気が再び悪くなったことがあるか、現在どの薬を使っているかも大切です。

ANCA は、血管炎に関係する血液検査の項目です。値が上がっただけで病気が悪くなったと決めることはせず、症状やほかの検査と合わせて判断します。

3. 病気が落ち着いている場合はどうなりますか

症状や炎症が落ち着いた状態を「寛解」といいます。寛解を保つための薬として、リツキシマブ（商品名：リツキサンなど）やアザチオプリン（商品名：アザニン、イムラン）などが適切に使われているかを確認します。必要に応じて、薬の開始や変更を検討します。

タブネオスをやめるという理由だけで、すべての方にプレドニゾロン（商品名：プレドニンなど）などのステロイド薬を追加したり、増やしたりするわけではありません。ステロイド薬の量や減らす速さは、個々の患者さんの病状に合わせて調整します。

4. 治療を始めたばかりの場合や、再び病気が悪くなった場合は

病気を落ち着かせるための治療（寛解導入療法）を受けている間や、いったん落ち着いた病気が再び悪くなった場合（再燃）には、血管炎による腎臓や肺などの状態を確認し、治療を見直します。

病期が重い場合は、ステロイド薬と、リツキシマブまたはシクロホスファミド（商品名：エンドキサン）（いずれも点滴投与）を組み合わせる治療などを検討します。これらの薬が使えない場合も、病気の状態に応じて別の薬を検討します。

5. 中止後はどのようなことに気をつけますか

中止後は、病気の状態が変化していないか、特に注意して経過をみます。体調がよくても予定どおりに受診し、血液検査や尿検査、画像検査などを受けてください。受診の間隔は主治医の指示に従ってください。

次のような症状が新しく出た、または悪くなったときは、次の予約日を待たずに医療機関へ連絡し受診の相談をしてください。血管炎の悪化だけでなく、感染症などが原因のこともあります。

・発熱、強いだるさ、せきや息切れ、尿の量が減る、手足のしびれや力の入りにくさなど

6. 肝臓の副作用が疑われるとき

タブネオスでは重い肝臓の障害が報告されています。皮膚や白目が黄色い、尿が濃い茶色になる、強いかゆみ、食欲がない、強いだるさなどがあるときは、すぐに医療機関へ連絡し、服用の扱いについて指示を受けてください。

肝障害が疑われる場合は、ここまで説明した計画的な中止とは対応が異なります。予定の診察日まで待たないでください。

7 診察のときに確認しましょう

・タブネオスをいつ中止するか

・中止後に使う薬と、それぞれの飲み方・使い方

・次回の受診日・検査日と、体調が変わったときの連絡先

中止予定日；　　年　　月　　日

次回受診日：　　年　　月　　日

医療機関の連絡先：

作成日 2026 年 10 月 24 日　患者説明用文案

もとにした資料：日本リウマチ学会・日本腎臓学会合同 タブネオス安全性検討タスクフォース「アバコパンの計画的中止時の対応について」